

# えがおになあれ

32

子どもたちが明るく元気に育つのを  
見ると、未来に希望を感じます。  
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人  
も、「えがおになあれ」…そんな願いを  
込めて、このコーナーを設けました。  
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

## 子どもの気持ちに寄り添って子育てを

保育所は、0歳〜就学前の子どもたちが共に暮らす、初めての集団生活の場です。社会環境の変化とともに、子育て環境もずいぶんと変わってきた今日、人生の土台となる大切な乳幼児期の育ちをサポートする大事な役割を担っている場のひとつです。

例えば、泥んこ遊びを積極的に取り入れて、精一杯身体を動かして気持ちを開放する遊びをふんだんに経験したり、地域の伝統行事を伝え、ふるさとへの思いを育む活動をしたり、食事やおやつは素材にこだわり、豊かな食の提供に努めています。

日々の保育の中で最優先していることは、子どもたちが集団生活の中から多くのことを学び、豊かな



何度でもやり直しができ、イメージに合わせて遊べる泥んこ遊びが大好きな子どもたち。五感も磨かれます。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

な心と健やかな体を育むことです。その育ちには、子どもの気持ちや心に寄り添おうとする大人の関わりが保育所だけでなく家庭でも大切だと考えています。

保育所では、入所児に限らず、在宅の親子も利用できる開放日や一時保育、子育て相談も行っています。子どものもよりよい成長や家庭での子育てに大切なことを一緒に考えながら、みんな子育てをしていきましょ。お気軽にご相談ください。

### ◆在宅の親子も利用できます◆



何を作ろうかな？在宅の親子も保育所でさまざまな遊びを楽しんでいます。

おたすね／子育て支援課 ☎216604

す。どの施設でも、来る人がほっとできる場所づくりをしています。

## 出雲の食材をおいしく食べよう！

### 今月の食材は「あすっこ」です！

あすっこは、ブロッコリーとビタミン菜を交配させて平成15年に誕生した島根県生まれの春野菜です。「島根の明日をめざす野菜」「アスパラガスのような食感」「アスコルビン酸（ビタミンC）を多く含む」ことからこの名前がつけました。名前の由来のとおりビタミンCが豊富で、ゆでてもその含有量が多いのが特徴です。茎や葉、つぼみ、花を全部食べることができ、サツとゆでると鮮やかな緑色となってアスパラガスのような甘みがあります。苦味やクセがないことから子どもにも食べやすく、さまざまな料理に使うことができます。和え物や炒め物、またシチューやグラタンに入れてもおいしくいただけます。

「あすっこ」は2月から4月下旬頃に出回ります。島根で生まれた春野菜で一足早く春の味を味わってみませんか。

今回は「あすっこの白和え」のレシピを紹介します。ぜひお試しください。

おたすね／食のボランティアえがおの会  
健康増進課 ☎21-6829



### あすっこの白和え

#### 【材 料】(4~5人分)

- ・あすっこ……………1束(140~150g)
- ・人参、しめじ…各30g
- ・木綿豆腐……………半丁
- ・砂糖……………大さじ1
- ・しょうゆ……………大さじ1
- ・すりごま……………大さじ2

#### 【作り方】

- ①たっぷりの熱湯に塩少々を入れ、あすっこをサツとゆでて冷水にとる。3cm くらいの長さに切り(茎の太い部分は縦に半分にする)、しっかりしぼる。
- ②しめじは小房に分け、人参はせん切りにする。ともにゆでておく。
- ③豆腐は水気をきってクッキングペーパー2枚に包み、1分間レンジにかけて水分をとばす。
- ④豆腐と野菜を混ぜて調味料を加え、味を調える。

展示

◆企画展 《3/9～5/6》観覧料300円・高校生以下無料

「お墓のカタチ 穴・箱・部屋 —出雲の埋葬の歴史—」

猪目洞窟遺跡の人骨など、発掘調査で出土した「墓」に関する資料を展示します。



◆ギャラリー展 《5/13まで》

「続・よみがえるな!」  
＝国富中村古墳の発掘秘話＝

観覧無料

◆速報展示 《4/22まで》

「鰐淵寺」発掘調査速報展  
＝鰐淵寺川南地区の調査成果について＝

観覧無料

講座案内

《講座の受講は、事前申込が必要です。》

◆出雲市文化財保護審議委員講座【出雲の文化財Ⅲ】

3/9(土)「春日家文書・高見家文書・佐藤家文書—出雲の国絵図・伊能図に関連して」

講師：池橋達雄氏(元島根史学会会長)

3/23(土)「祈りのかたち—出雲市内の仏像と神像を中心に」

講師：的野克之氏(島根県立古代出雲歴史博物館)

いずれも  
時間：14時～16時  
定員：80名  
受講料：300円

◆企画展関連講座

3/17(日)「古代の人骨(仮)」

講師：井上貴央氏(鳥取大学医学部教授)

3/20(水)「埋葬の歴史(仮)」

講師：勝田 至氏(芦屋大学・京都光華女子大学非常勤講師)



いずれも  
時間：14時～16時  
定員：80名  
受講料：無料

◆ギャラリートーク…展示を見ながら学芸員が解説します。

3/2(土)「国富中村古墳について」

講師：坂本豊治(出雲弥生の森博物館)

時間：14時～(30分) 定員なし  
受講料：無料 申込不要



出雲弥生の森博物館

〒693-0011 出雲市大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori



荒神谷椿の森まつり

荒神谷史跡公園では、毎年3月になると約800本の椿がきれいな花を咲かせます。  
ゆっくりと散策しながら多種の椿を楽しんでみませんか？  
ぜひご家族やご友人とお越しください♪

日時：3月23日(土)～3月24日(日) 10:00～16:00

会場：荒神谷史跡公園内椿の森、荒神谷博物館ホール

内容：散策マップ配布、椿の苗販売、生け花展、クイズラリー、  
椿の実細工体験、軽食販売、お楽しみ抽選会など。



■ 定期講演会

第91回 3月16日(土) 13:30～15:00

演題：『出雲の臣 弟山 寺山を建てる(仮)』

講師：花谷 浩氏

(出雲市文化環境部 学芸調整官)

資料代300円 申込不要

最新情報はホームページ内のブログやFacebookをご覧ください♪

■ 風土記談義

3月17日(日) 10:00～

講師：藤岡大拙・平野芳英

受講料300円 申込不要

ホール展示のお知らせ

『おしどり夫婦作品展』

～二人の繊細美世界～

3月2日(土)～4月15日(月)

名原夫妻(斐川町在住)による作品展。ご主人は植物を薄く切って撮影した写真を、奥様は細かな装飾のレース編みを各10点ほど展示します。(観覧無料)



荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

〒699-0503 出雲市斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

http://www.kojindani.jp

